

合唱舞踊劇

# ルードヴィヒ

Choral Dance Theatre "LUDWIG"

CHORAL DANCE THEATRE

O.F.C.

合唱舞踊劇  
2012 公演

バレエ×合唱×管弦楽

ベートーヴェン「交響曲第9番」

LUDWIG VAN BEETHOVEN SINFONIE NR.9 D-MOLL OP.125

満天の星に照らされ、灼熱の日輪へと若者は歩き続ける。  
彼の名は、ベートーヴェン。



演出・振付  
佐多達枝  
SAITA, Tatsuie



指揮  
飯守泰次郎  
IIMORI, Tajiro



ベートーヴェン役  
佐々木大  
SASAKI, Dai

2012年  
12月27日(木)

19:00 開演 [18:15 開場]

東京文化会館 大ホール

(JR 上野駅公園口改札前)

S: 10,000円 A: 8,000円 B: 6,000円 C: 4,000円 D: 2,000円 【全席指定】(就学前のお子様のご入場はご遠慮ください)

主催: O.F.C. 共催: 佐多達枝・河内昭和バレエスタジオ 助成: 芸術文化振興基金

お問合せ: O.F.C. 事務局 Tel/Fax: 03-3367-2451 URL: <http://homepage2.nifty.com/ofc/> email: [HZU04357@nifty.com](mailto:HZU04357@nifty.com)

Photo: スタッフ・テス





# ルードヴィヒ

Choral Dance Theatre "LUDWIG"

## CAST

### ◆ 独唱



ソプラノ 中江早希    アルト 穴澤ゆう子    テノール 伊藤達人    バリトン 駒田敏章

### ◆ ダンサー



安藤明代    安藤ゆり    池上直子    宇山たわ



奥田麻衣    坂田めぐみ    櫻井マリ    堀山紗也加  
東京シティバレエ団    ル・エスタジオHORUCHI



島田衣子    清水あゆみ    関口淳子    高木奈津子  
(財)井上バレエ団



高村麻実    田所いおり    樋田佳美    菅田麗帆  
後援 東京シティバレエ団



堀口聖楽    宮杉綾子    森田真希    森山由布子



穴吹 淳    石井竜一    小出顕太郎    後藤和雄  
岩田バレエ団



酒井 大    武石光嗣    堀内 充    守屋隆生  
谷桃子バレエ団

### ◆ 管弦楽

東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団

### ◆ 合唱・コロス

オルフ祝祭合唱団

### 【お問合せ：O.F.C. 事務局】

Tel/Fax：03-3367-2451

URL：http://homepage2.nifty.com/ofc/

email：HZU04357@nifty.com

### 【チケット前売り】O.F.C. チケットセンター 03-3367-2451

●東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650 <https://www.t-bunka.jp/>

●チケットぴあ [Pコード:422-618] 0570-02-9999 [24時間受付]

●セブンイレブン：各店舗のマルチコピー機でチケット購入できます。[24時間対応]

●サークルK・サンクス：各店舗のカルワサステーションでチケット購入できます。[7:00~23:00]

## バレエ、合唱、管弦楽による“観る「第9」”

管弦楽、独唱、合唱、そしてバレエによってベートーヴェン自身の半生を劇的に描いた合唱舞踊劇『ルードヴィヒ』。2000年に初演し、ベートーヴェンの心の変遷に沿いながら現代的なエネルギーを感じさせる振付が高い評価を得、'02年'03年に再演を行う。今回9年振りの再演にあたり、指揮に次期国立劇場の芸術監督就任が決まったマエストロ飯守泰次郎、ベートーヴェン役には数々の国際コンクールで優勝し今年第37回橘秋子賞優秀賞を受賞した佐々木大が登場する。

### 《前回公演の批評》ダイナミックなシンフォニー O.F.C.「ルードヴィヒ」

(略) まず目を奪われるのは、第一楽章から合唱団を登場させて群舞を踊らせるダイナミックな構成だ。暗く不穏な色合いから第二楽章の明るさへと移行、さらに牧歌的な安らぎのアダージョの第三楽章を経て、いよいよ佳境へ。雄大なスケールの曲を鮮やかにまとめ上げる佐々の辣腕ぶりは、ほかの合唱舞踊劇と同様に圧巻である。動き、声、楽器が一体となってこの世の恵みと天上の栄光を謳い上げる最終楽章は、文字通り歓喜に満ちあふれた。シンプルな美術も効を奏し、舞台すべてが坂本のルードヴィヒに導かれて総合に完結。河内連太の台本には、社会の矛盾に対する芸術家の苦悩や夢が描かれる。だがそれ以上に強烈に迫ってくるのは作曲家へ捧げる振付者の想いであろう。同じ創作者としての苦悩や達成感が、各楽章の主題に沿って形を変えながらも一貫して響きわたる。その熱い共感ほ踊り手一人ひとりにも確実に反映している。

(2003年2月号 新書館 ダンスマガジン)



### ベートーヴェンの苦悩と歓喜への希求を 「第9」の調べにのせ熱く描く



Photo: スタッフ・テス

### 演出・振付：佐多達枝

1932年東京生まれ。高田せい子、エリアナ・パプロワ、東勇作に師事。1954年から創作バレエの第一線で活動する。河内昭和とのスタジオ制作公演の他、劇団四季等の振付も手掛ける。代表作に『満月の夜』『カルミナ・ブラーナ』『父への手紙』『庭園』等。2005年旭日小授章を受章。2007年に舞踊批評家協会賞を受賞。1995年よりO.F.C.芸術監督。

### 合唱舞踊劇 O.F.C.

オーケストラ、ダンサー、独唱者と合唱によるエンターテインメント、「合唱舞踊劇」を創造するカンパニー。1995年の発足以来、現代バレエの第一人者である振付家の佐多達枝を芸術監督に、劇的三部作『トリオンフィ』（オルフ作曲：『カルミナ・ブラーナ』、『カトウリ・カルミナ』、『アフロディーテの勝利』）、『ルードヴィヒ』（ベートーヴェン作曲：『交響曲第9番』）、『ダフニスとクロエ』（ラヴェル作曲）、『イエス、わが喜び』（パッハ作曲：『モテット3番』）『ヨハネ受難曲』（パッハ作曲）などを合唱舞踊劇として上演している。合唱を群舞として使う独特の手法が大きな特徴となっており、音楽とダンスをより効果的に融合させるというコロス（合唱群舞隊）の担う役割は回を重ねるごとに大きくなっている。

### STAFF

台本・美術：河内連太  
照 明：足立 恒  
衣 装：宮村 泉  
音 響：中村 基・井上寛文  
舞 台 監 督：堀尾山由紀  
照明 操 作：インプレッション  
舞 台 操 作：ユニ・ワークショップ  
合 唱 指 揮：小笠原美敬・穴澤ゆう子  
石川洋人・小野真実子・中江早希  
コレペティトル：河内菜穂  
ダンスミストレス：斎藤隆子  
コロスミストレス：宇山たわ  
制 作 協 力：河内昭和・小玉隆司  
企 画・制 作：柴 大 元  
助 成：芸術文化振興基金  
共 催：佐多達枝、河内昭和、バレエスタジオ  
主 催：O.F.C.

### 【次回公演】O.F.C. 合唱舞踊劇 2013

オルフ『カルミナ・ブラーナ』

プーランク『グロリア』

2013年10月29日(火)

東京文化会館大ホール

チケット発売：2013年6月上旬

◎公演参加者募集 [合唱・コロス]

練習開始 2013年2月より毎週日曜

YouTubeで動画を公開しています。

合唱舞踊劇

検索